

### コロナ感染への不安や困りごとの行き先は？

都の予算でPCR検査が広く行われるようになりましたが、市として検査実態がつかめない点への指摘に対して、保健所を持たない自治体の対応の難しさを踏まえ、情報収集等を可能な限り進めていくという答弁がありました。また、市独自の電話相談サービス、自宅療養者への物資の支援等についても質疑がありました。

(衛生費 感染症予防事業)

### 「多摩市気候非常事態宣言」の推進のために

2050年脱炭素化をめざして、再生可能エネルギーポテンシャル調査が始まります。地球温暖化対策は市民の意識改革や取り組みが求められるため、身近な相談窓口設置の検討や、集合住宅で課題となっている電気自動車の普及に伴う充電システム導入等、さらなる取り組みの充実が必要です。また、市民が暮らしの中で自然と目に留まるような啓発の工夫も求められます。

(衛生費 地球温暖化対策事業)

### よりよい公園利用のための駐車場問題の解決を

公園利用者のために駐車場の拡張整備が求められます。そのための財源確保が課題です。明らかに公園利用者ではない駐車が行われている場合もあり、「有料化」の導入で適切な負担を求める声がある一方、「有料化」には慎重な意見も出ています。今回、大規模改修工事を実施する諏訪北公園については将来的に駐車場有料化にも対応できる整備内容とし、駐車場の台数が増設される予定になっています。

(土木費 公園整備事業)



### 災害用備蓄品に新たに「乳児用液体ミルク」の導入

令和4年度から、令和3年8月を基準(乳児0か月から6か月まで427人)にして、3800食分を備蓄することになりました。液体ミルクについてはまだ認知度が低いため、健康推進課や児童館等と協力し、市民への啓発を進めていきます。粉ミルクとは異なり、お湯を使わずに使用できるため、個人の備蓄品としても各家庭で準備し、活用してもらえようということが望ましいという意見がありました。

### 消防団活動の活発化と市民へのPRの強化を

近年、消防団は自然災害による出勤も増えていきます。その実態に見合う報酬の見直しが行われます。先細り傾向にある団員の確保に歯止めをかけ、今後の消防団活動の活性化につなげていくことが期待されます。また、出初式は多摩中央公園で、ポンプ操法大会は陸上競技場で実施する予定です。消防団をより市民に身近な存在にしていくことを望みます。

(消防費 災害対策経費)



### 全小学校で水泳授業の民間委託化の実施

昨夏3校で試行的に実施した取り組みは、子ども、保護者にはとても好評であり、児童の泳力向上の点でも有意義な取り組みです。令和4年度は小学校全校での実施になり、貸切りバスによる民間施設への送迎も行われます。小学校での取り組み成果を踏まえ、今後、中学校での導入も検討していったほしいと思います。一方、各学校のプール施設については消防水利になっているところもあり、今後の対応については検討をしていくべきとの指摘がありました。

(教育費 教育指導経費)

## 令和4年度一般会計予算について、教育費 スポーツ施設管理運営費等に対する修正案が提出されました

### 修正案の内容

6名の委員より、海洋汚染、マイクロプラスチック対策を考慮し、来年度以降予定されている庭球場の改修工事(諏訪北公園、連光寺公園、貝取北公園)に際する人工芝コートの張替えを再

検討すべきとの立場から、工事費用を取りやめる内容の修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。